

県政の動き

8月11日(日)～10月10日(木)

8月23日(金)

鹿児島県・鹿児島市意見交換会

8月23日(金)

食の安心・安全を考える講演会

8月26日(月)～8月30日(金)

★清華大学とのMOU(包括協定)締結

8月28日(水)

木質バイオマス利用による

CO₂排出削減量の認証

8月28日(水)

4県明治維新150年会議

9月2日(月)

★障害者雇用啓発街頭キャンペーン

9月4日(水)～9月8日(日)

9月5日(木)

★平成25年度「鹿児島県くらし安全・安心県民大会」

9月9日(月)～9月13日(金)

★自殺予防街頭キャンペーン

9月11日(水)

「第72期消防職員初任教育」卒業式

9月12日(木)

★元気生き生き長寿者訪問

9月13日(金)～10月20日(日)

かごしまアートフェスタ2013

9月14日(土)

★新型固体燃料ロケット

「イプシロンロケット」打ち上げ

9月14日(土)～9月15日(日)

★第67回県民体育大会

9月17日(火)

★明治日本の産業革命遺産 九州山口と関連地域

今年度のユネスコへの政府推薦案件に決定

9月27日(金)

道路愛護等に係る知事表彰

10月1日(火)

ピンクリボンツリー設置セレモニー

★は写真入りで紹介

8月26日(月)～8月30日(金)

清華大学とのMOU(包括協定)締結



伊藤知事をはじめ池畑県議会議長など県内の教育・産業界の代表者からなる訪問団が訪中し、8月29日に北京の清華大学において、鹿児島県と清華大学のMOU(包括協定)を締結した。

清華大学は習近平国家主席などを輩出した名門大学であり、海外の地方自治体とMOUを締結するのは鹿児島県が初めてである。

今後、青少年交流や学術・技術、教育・産業における分野での交流を促進し、日中両国の交流を深める。

MOU締結で、さまざまな分野の交流の枠組みが整い、今後の県政発展に寄与することが期待される。

9月2日(月)

障害者雇用啓発街頭キャンペーン



平成25年度
障害者雇用支援月間ポスター原画
厚生労働大臣受賞作品



9月の「障害者雇用支援月間」の取り組みの一環として、鹿児島中央駅東口駅前広場で街頭キャンペーンを行った。

「障害者雇用支援月間」は、障害のある方が一人でも多く働く場を得られるよう、障害のある方の職業的な自立の意欲を高めていただくとともに、事業主および県民の皆さまに障害者の雇用に対する理解を一層深めていただくことを目的としている。

街頭キャンペーンではリーフレット1000部を配布し、障害者の雇用促進についての理解を呼びかけた。

併せて、障害者雇用優良事業所および優秀労働障害者の表彰などを行う「障害者雇用支援・激励大会」や「障害者就職面接会」についても周知を行った。

平成25年度「鹿児島県くらし安全・安心県民大会」



防犯や交通安全、犯罪被害者に対する支援についての意識を高め、県民総ぐるみで犯罪や交通事故を未然に防止し、犯罪被害者を思いやるまちづくりの実現を図ることを目的とした「県くらし安全・安心県民大会」を県庁講堂で開催した。

大会では、防犯および交通安全功労者・団体の表彰、防犯・交通事故防止寸劇、犯罪被害者の手記朗読のほか、鹿児島市立中部小学校交通少年団による「くらし安全・安心宣言」が行われた。

また、大会終了後、関係団体による「防犯および交通安全街頭パトロール」を実施した。



9月9日(月)～9月13日(金)

自殺予防街頭キャンペーン



9月10日から16日までの自殺予防週間に合わせて、県内各地で自殺予防街頭キャンペーンを実施した。

自殺予防週間は、関係団体が連携して自殺予防について啓発活動を推進し、あわせて啓発活動によって援助を求めらるに至った人が必要な支援を受けられるよう、重点的に支援策を実施することを目的としている。

キャンペーン期間では、精神保健福祉センターの相談時間を延長するとともに、電話相談窓口の情報が記載されたリーフレットなどを街頭で配布し、「ひとりで悩まないで、まずは相談を」と声をかけるなど自殺予防についての正しい知識の普及啓発を集中的に行なった。

9月12日(木)

元気生き生き長寿者訪問



9月15日の「老人の日」を前に、鹿児島市在住の地福武彦さん(101歳)を伊藤知事が訪問し、長寿を祝った。

地福さんは、「元気生き生き長寿者」として、毎日元気で生きがいを持って生活されている。

知事は、朝晩の入浴と散歩が日課で、100歳を記念して自宅脇に建てた「感謝の碑」までの坂道を先頭に立って力強く歩く地福さんの元気に触れ、「まずは県内で一番の長寿、そして日本一の長寿を目指し、健康で長生きしてください」と激励した。

地福さんは、「長生きの秘訣は毎日朗らかに過ごすことです。日本一の長寿を目指したい」とお礼を述べた。

新型固体燃料ロケット「イプシロンロケット」打ち上げ



独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）は、9月14日午後2時に肝付町の内之浦宇宙空間観測所から、新型の固体燃料ロケット「イプシロンロケット」試験機を打ち上げた。

ロケットには、惑星分光観測衛星（SPRINT-A）を搭載、打ち上げから約1時間後に所定の軌道に投入し、打ち上げは成功した。

今回、打ち上げた衛星は、内之浦の岬の地名である「火崎」にちなみ「ひさき（HISAKI）」と命名された。

同観測所からの衛星搭載ロケット打ち上げは7年ぶり、当日は、県内外から多くの見学者が内之浦を訪れ、打ち上げ成功を喜んだ。

第67回県民体育大会



第67回県民体育大会が鹿児島市を中心に9市5町において開催された。

正式競技25競技、公開競技17競技の合計42競技に県内各地から約5500人の選手・役員が参加し、盛大に行われた。

県民体育大会は、広く県民にスポーツを普及し、健康増進と体力の向上を図り、併せて地域スポーツの振興・発展に寄与するとともに、本県競技力向上に努め、県民生活を明るく豊かにすることを目指している。

各地区の期待と榮譽を担って参加した選手は、日頃の練習の成果を十分に発揮し、熱戦が展開され、感動あふれる素晴らしい大会になった。



「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」今年度のユネスコへの政府推薦案件に決定



旧集成館機械工場（現：尚古集成館本館）

9月17日に旧集成館機械工場（現在の尚古集成館本館）など本県所在の産業遺産を含む「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」が、今年度のユネスコへの世界文化遺産政府推薦案件に決定された。

「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」は、日本が産業国家として急速な発展を遂げた道程を示す貴重な遺産群である。

この決定を受けて、世界遺産登録推進協議会会長の伊藤知事は、「平成27年度の登録を目指す私どもにとっても、極めて大きな前進である」とのコメントを出した。今後とも、平成27年度の世界文化遺産登録を目指し、国や関係自治体とより一層緊密に連携しながら、取り組むこととしている。



旧鹿児島紡績所技師館（異人館）